

富士紀行(63) 桜咲く！ (歩け歩け！)

(H13/4/10 記)

富士駐屯地に桜が咲いた。一輪の桜が春を待ちわびる我らに一足早い春を運んできてくれた。駐屯地の桜は来週以降満開になるのではなかろうか。我らは三島・沼津の桜に始まり、御殿場地区、富士霊園、駐屯地の桜更には山の中のマメサクラ（富士桜）と言う具合に一月近く桜を楽しめるという幸せに恵まれている。感謝。

さて、61号で、モグラの種類の違いに関する教示を乞う旨書いたところ、早速に、富士学校特科部の某3佐から情報提供があったので、そのエキス部分を紹介する。

「モグラは、北海道を除く各地の森林、草原、畑、公園などに普通に見られ、最も身近かな野生哺乳類の一つとなっている。主なモグラに関東以東にすむ中型のアズマモグラ *Mogera wogura*、中部以西の本州、四国、九州の平野部にすむ大型のコウベモグラ *M.kobeae*、高山にすむ小型のミズラモグラ *Euroscaptormizura* などがある。」（出典は百科事典とのことである。）

散策、ハイキング、トレッキングそしてウォーキングと歩け歩けの機運が日本全国で澎湃と興っている。自然への回帰でもあろう。確かに官用車で登退庁する小生も先日からジョギング通勤をしているが、視点の高さと通過速度の違いにより、今まで見えなかったものが見えるようになった。それは素晴らしいことだ。草木の息吹すら感じられる昨今である。

全ての道は鎌倉に通ずとも言われた。東海道の脇往還であって、勘定奉行の支配にあった「鎌倉往還」と言われる甲府（酒折）からの御坂路が夙に知られる。

鎌倉往還と言われる街道は、具体的には富士学校周辺・須走のどこに設定されていたのか、或いはルート外であったのか？

文献によって2説があって小生には真偽も定かならず若干困惑していたのであるが、忍野村村史を読んで、謎が氷解した。

文献による第一の説は、現在の国道138号線の所謂籠坂ルートであり、第二の説は、山中湖村平野から三国峠、明神峠を経て小山町の中日向へのルートである。

この2説に関して、忍野村村史は、次のように述べている。

「三 鎌倉期の忍野 (2) 鎌倉期の忍野 武家政権が確立していったこの時代の東国は、特に鎌倉を中心としてあらゆる情報や文化等が諸国に伝播していったため、様々な発達を見せた。その第一に掲げられるのが伝播の方法であった道路の発達である。この時代、鎌倉に通ずる大小の道が鎌倉海（街）道として整備されていったようである。甲斐においても幾つかの道筋が発達していったが、都留郡ではとりわけ駿河須走から山中加古坂を経て上吉田へ至る道（御坂路・鎌倉街道・鎌倉往還とも呼んだ）が主に利用された。いわゆる前述した律令制下の官道であるが、一方、駿河日向（小山町）からヅナ峠を越え平野に入り、平野坂から内野を経て明見へ至る道もこの時期に整えられていったと考えられよう。

『甲斐国志』によると、加古坂ルートは宝永4年(1707)の富士宝永山噴火による土砂流出で平坦な形状になるまでは、峻路、つまり険しい路であったため、比較的通行しやすいヅナ峠ルートも利用されていたという。(以下略)。(村史 161p)江戸時代には、明見～内野～平野～日向のルートが盛んであったと言う。先般第二の説の三国峠から明神峠経由のルートを通ったが、明神峠から日向までの坂路は険しく、今の籠坂ルートの比ではなかった。三国峠手前の展望所からの山中湖、富士を望む絶景は鮮烈であったことを付記しておきたい。

ところで、この籠坂峠と明神峠の山稜を結ぶのが「三国山稜ハイキングコース」である。籠坂峠、立山、アザミ平、ヅナ坂、三国山を結んでいる。小山町発行の散策マップによれば、町推薦の散策コースが、三国山稜ハイキングコースを含むハイキングコースが5個(富士登山と小富士、湯船山、不老山、足柄峠・金時山)紹介され、散策コースとして、金太郎、足柄路、田園、宿場の4コースが紹介されている。因みに須走の名所は宿場コースに含まれている。(須走の名所は、富士紀行5号及び9号参照)。「おやま町散策マップ」の件は、「広報おやま」最新版の長田央町長の談話にあったので、早速町に問い合わせ入手した次第である。

ウォーキングと言えば、今年は東海道400年祭が静岡県内各地で行われているが、そのイベントにもウォーキングは多い。東海道400年祭記念ウォークに登録されているイベントは約150である。旧街道を歩く、花の名所や自然の景観を眺める、街並みをウォッチングしながら史跡を巡る等々の各種のウォーキングが県内各地で開催されている。誰でも参加出来るとのことであるので、参加されては如何だろうか。因みに当地周辺の記念ウォークは①幻の滝・小富士・和製グランドキャニオン巡り(5/26,27,6/9/10)②金太郎誕生伝説街道(5月予定)③富士講体験ツアー(6/30,7/1)④小富士、和製グランドキャニオン・木の根巡り(9/29/30,10/13/14)⑤足柄竹之下宿場ウォーク(10/14)である。